

小学校第5学年 社会科学習指導案

小単元：4. これからの食料生産とわたしたち(配当5時間)

食料輸入を支える海上輸送の役割 (3/5)

◆目標

我が国の農業や水産業における食料生産について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の課題を捉え、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保や、食料自給率を上げることなどの重要な課題について理解できるようにするとともに、学習したことを基にこれからの農業などの発展について考えようとする。

(海事の視点より) 食料の多くを輸入に頼ったり、高い品質の農産物の輸出を進めたりする上で、海上輸送が重要な役割を果たし、私たちの生活を支えていることを理解する。

◆小単元の観点別評価規準

○知識・技能

- ・食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。
- ・調べたことを図表や文などにまとめ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。

○思考・判断・表現

- ・食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見いだし、食料生産の課題について考え表現している。
- ・食料自給率と食生活の変化を関連づけたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
- ・学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業などの発展について考えようとしている。

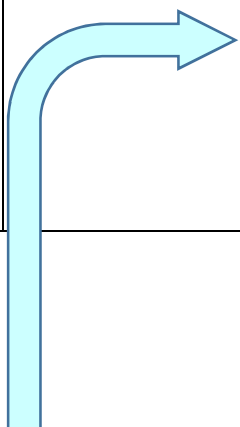
この単元では、5時間扱いのうちの3時間目に、「食料自給率の低下」と関連させて、食料の輸入を支える海上輸送の役割の大きさに目を向ける内容を、少しだけ付け加えています。
時間数を増やすことなく指導できるように、工夫しています。



Copyright © 2008 kids message all rights reserved

◆指導・評価計画（各時間）

	本時のめあて	学習活動	評価の観点と方法
つかむ	<p>(1) 日本の食料生産をめぐる課題 p. 114～115</p> <p>食料生産の問題について話し合い、学習問題をつくりましょう。 (1時間)</p>	<p>①農業や水産業の学習をふり返り、どのような課題があったか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産業ではとれる魚が少なくなった。 ・米の生産量と消費量が減っていた。 ・農業も水産業も働く人が減っていた。 <p>②日本と主な国の食料自給率について調べ、疑問に思うことを話し合い、学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料の多くは輸入にたよっている。 <p>学習問題 日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいのでしょうか。</p>	[思判表] 発言
調べる	<p>(2) わたしたちの食生活の変化と食料生産 p. 116～117</p> <p>食生活の変化は食料生産にどのようなえいきょうをあたえているのでしょうか。 (1時間)</p>	<p>①資料を基に食生活の変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋食が多くなり、パンやハンバーグやカレーなど、肉を使った食べ物が多くなった。 <p>②食生活の変化や食料品別の輸入量の変化を資料で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1960年度と比べると米の消費量が減り、肉やその加工品、乳製品などの畜産物が増えている。 ・増えている食料品の多くは輸入に頼っている。 <p>③調べたことを関連づけ、食生活の変化が食料生産や食料の確保にどのような影響を与えているか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活が変化し、小麦や乳製品などがたくさん輸入されるようになった。 ・食生活は豊かになったが、自給率の高い米の消費が減り、輸入食料品が増え、自給率が下がっている。 ・食料廃棄の多さも問題になっている。 	[思判表] ノート
調べる	<p>(3) 食料を安定して確保する p. 120</p> <p>食料を安定して確保し続けるためには、どのようなことが大切なのでしょうか。 (1/2時間)</p>	<p>①前時の学習をふまえ、資料を基に食料の安定確保にとって課題になることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料生産を行う人や場所が減っている。 ・食生活の変化で、消費の増えた食料品やその原料の多くは輸入に頼っている。 <p>②生産者の話や食糧の輸入における海上輸送の役割の資料をもとに、食料を安定して確保するために大切なことを調べ、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の食料自給率を上げるために国産のものを食べるのが大切。 ・自分の住んでいる地域でとれるものを食べることも大切。 ・多くを輸入に頼っていることから、海上輸送の役割がとても重要。 	[知技] ノート
		<ul style="list-style-type: none"> ・食料品の輸入が増え、そのほとんどは船で運ばれている。 ・食料の輸入を支える上で海上輸送は重要な役割を果たしている。 ・海上輸送ができなくなったら、日本に食料品が入ってこなくなる可能性がある。 ・日本の食料輸入を支える海上輸送について、関心を高める必要がある。 	



まとめる	<p>(3) これからの食料生産について考える p. 121</p> <p>これからの食料生産について調べたことをもとに、学習問題に対する考えをまとめましょう。 (1/2 時間)</p>	<p>①これまでに調べたことを、カードに書いて黒板に貼り、分類をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料生産がかかえる課題 ・食の安全・安心の取り組み ・食料を安定して確保するために大切なこと <p>②分類したカードを見ながら、これからの食料生産で大切だと思うことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料自給率を上げる。 ・地産地消の取り組みにも進んで参加する。 ・むだなく食べる。 ・日本は輸入食料品が多く、食料の安定的な供給に人々が努力している。食の安全・安心にも気を付ける。 <p>③話し合ったことをもとに、これからの日本の食料生産について大切に思うことを各自ノートにまとめる。</p>	[思判表]ノート
調べる	<p>(4) 食の安全・安心への取り組み p. 118～119</p> <p>食の安全・安心に対する取り組みは、どのように行われているのでしょうか。 (1 時間)</p>	<p>①食の安全・安心に対する取り組みについて知っていること、輸入食品で問題になること等を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の学習では、農薬を使わない工夫などもあった。 ・気候の影響により、輸入国で農産物が収穫できなかつたら、輸入ができない。 <p>②スーパーマーケットの店長さんなどの話をもとに、食の安全・安心のためにどのような取り組みがあるか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーサビリティ ・日本の法律に合格した食品を輸入する。 <p>③調べたことをもとに、食の安全・安心に対する取り組みがどのように行われているか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーサビリティの取り組みや輸入食品の衛生管理が行われている。 	[思判表]ノート
いかす	<p>(5) 食料生産の新たな取り組み p. 122～123</p> <p>新しい食料生産のくふうをしようか話し合い、これからの食料生産について考えましょう。 (1 時間)</p>	<p>①食料生産の新たな取り組みについて、グループ内で分担して調べ、発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産、加工、販売を自分たちで行う取り組み ・えさを工夫して畜産物の価値を高める取り組み ・持続可能な漁業を進める取り組み ・有機減農薬農法による米づくりの取り組み <p>②自分たちの県や市の農業や水産業の新たな取り組みについて、ホームページ等を利用して調べる。</p> <p>③これからの食料生産に対する考えをノートに文章でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者は、安さや安全だけでなく、価値のあるものや高級なものも求めている。 ・生産から販売までを行う取り組みがある。 ・消費者の願いに応えながら、新しい取り組みが行われている。 	[態度]発言 [思判表]ノート

※東京書籍令和2年度用『新しい社会』（第5学年）年間指導計画を参考に作成



Copyright © 2009 kiou shing all rights reserved

青色の部分が、海上輸送に関連する内容です。

この単元では、2時間目の「食料輸入量の増加と自給率の低下」の学習と関連させるとともに、4時間目の「食料の安定供給」の学習を3時間目に入れ替えることで、無理なく、食料を運ぶ船の様子や海上輸送の役割の大きさに触れることができるようにしています。また、この3時間目は、45分間の授業の中に収まるよう、全体の流れの中で時間配分を調整するとよいでしょう。

なお、3時間目の具体的な学習の流れは、4ページにある「本時指導案」をご覧ください。

◆本時指導案 食料輸入を支える海上輸送の役割 (3/5)

(1) ねらい

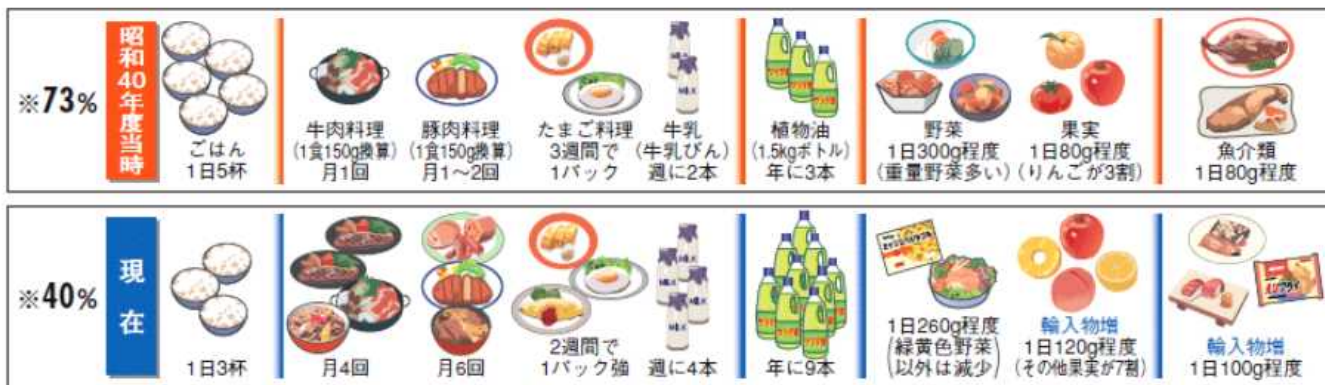
日本の食料生産には、食生活の変化や就業人口の減少、農業生産や漁業生産の減少などにより食料自給率が低下しているという問題があることを調べ、分かったことを話し合う。

(2) 展開

過程	○学習活動 ・ 学習内容	◎資料 ◆指導上の留意点
導入	<p>○2時間目の授業を基に日本の食生活の変化について振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40年前と比べ洋食が多くなり、食生活が変化している。 <p>○食生活の変化によって日本の農業などの食料生産はどのような影響を受けるか予想し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米を作る農家が減っていくのではないか。 ・小麦や肉などの輸入が増えると、日本の農業や畜産物の生産が少なくなっていくのではないか。 	<p>◎食事の内容と食料消費量の変化 資料1</p> <p>◆この40年ほどで日本の食生活が大きく変化したことに気付くようにする。</p>
	<p>食生活の変化によって、日本の食料生産にどのような問題があるのか調べよう。</p>	
展開	<p>○資料を基に、日本の食料生産の問題点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋食に使う肉や小麦などの食品の輸入が大きく増えている。 ・日本の食料自給率が低くなっていることは問題だ。 <p>○資料を基に、個人やグループで日本の食料生産における問題点について調べた後、学級全体で発表し合い、確かめる。</p> <p><産業別の人口の割合の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業・林業・水産業の人口の割合が10分の1以下になった。 <p><土地利用の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田や畑の面積が減り続けている。 <p><日本の食料生産とTPP></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出面ではよい点があるが、農産物の輸入面では、値段の安い外国産の食料輸入が増えるので、日本の農業が心配だ。 <p><地産地消></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の取り組みなど、自給率を高める必要がある。 <p><農業協同組合の後藤さんの話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入先の災害などで食料輸入ができなくなったら大変だ。 	<p>◎主な食料の品目別輸入率の推移 資料2</p> <p>◎国産品だけで作った食事 資料3</p> <p>◆日本の食生活の変化と関連させながら、日本の食料品別の輸入量の変化を読み取れるようにする。</p> <p>◎教科書・資料集等の資料を適宜提示する。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業別の人口の割合の変化 ・土地利用の変化 ・農業協同組合方の話
	<p>○こんなにたくさんの食料はどのように輸入されているのか予想し、資料を基に調べる。</p> <p><食料輸入を支える海上輸送の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料の輸入では海上輸送が大きな役割を果たしている。 ・パンやパスタなどの原料になる小麦を運ぶ専用船は、一度にたくさんの小麦を運ぶための構造の工夫がある。 ・海上輸送が困難になると食料の輸入ができず、大変なことになるので、日本の食料輸入を支える海上輸送の重要性にもっと関心をもつ必要がある。 	<p>◎船と飛行機の貿易量の割合 (99.6%) 資料4</p> <p>◎小麦を運ぶ専用船 資料5</p> <p>◆日本の食料の輸入における海上輸送の重要性に気付かせたい。</p>
	<p>○これまでに調べたことを、カードに書いて分類する。</p> <p>○分類したカードを見ながら、これからの食料生産で大切だと思うことを発表し合う。</p>	
まとめ	<p>○調べたことをもとに、学習問題に対する考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食生活の変化によって小麦や肉などの食料の輸入が増え、日本国内の食料生産が減っていることは問題である。 ・食料の輸送では海上輸送が大きな役割を果たしている。 ・地産地消など食料自給率を高める取り組みが必要だ。 	

資料1 食事の内容と食料消費量の変化

食事の内容と食料消費量の変化

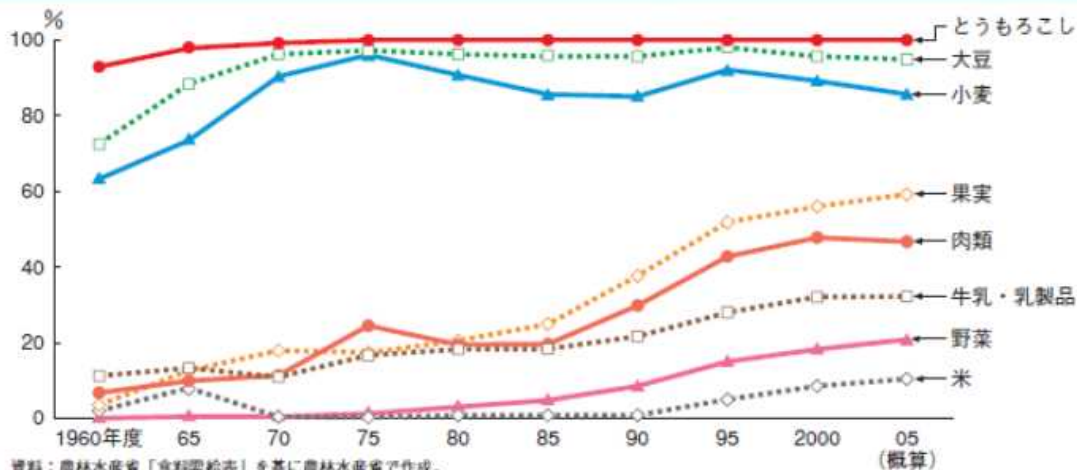


資料：農林水産省「食料需給表」を基に農林水産省で作成。
注：※は供給熱量ベースの総合食料自給率である。

平成18年度 食料・農業・農村白書より
http://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h18_h/trend/1/zoom_03.html

資料2 主な食料の品目別輸入率の推移

図1-12 主な食料の品目別輸入率の推移



資料：農林水産省「食料需給表」を基に農林水産省で作成。
注：1) 輸入率=輸入量/(国内生産量+輸入量)×100。
2) 輸入量については、生鮮換算等された数値である。

平成18年度 食料・農業・農村白書より
http://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h18_h/trend/1/t1_1_1_02.html

国産品だけだと おなかいっぱいにならないの？

私たちの生活では、さまざまな食材がいつもお店に並んでいます。しかし、その「食べもの」すべてが、日本で作られているわけではありません。その多くは外国からの輸入品なのです。

国産品だけで作った食事

牛乳・乳製品
28%

洋食

果物
43%

野菜
80%

肉類
9%


小麦 (パン、パスタなど)
13%

食料自給率とは

「食料自給率」とは、国内で消費される食べものが、どのくらい国内生産によってまかなえているか(自給できているか)を示す割合です。日本は食べものの多くを輸入に頼っています。


食料自給率は、品目によって異なります。例えば、日本国内でたくさん作られている米は100%となっていますが、外国でたくさん作られている肉類や大豆などは低水準となっています。

国産品
だけだと
いつもの食事は
できないね



ダイチくん

たったこれだけに
なっちゃうのね



メグミちゃん

魚
60%

和食

海藻 (のり、わかめなど)
66%


大豆 (納豆、みそなど)
7%

米 (主食用)
100%

日本の食べものについて
もっと詳しく知りたいいな

みんなで日本の食料事情を
調べに行こう!

Go!



モモ

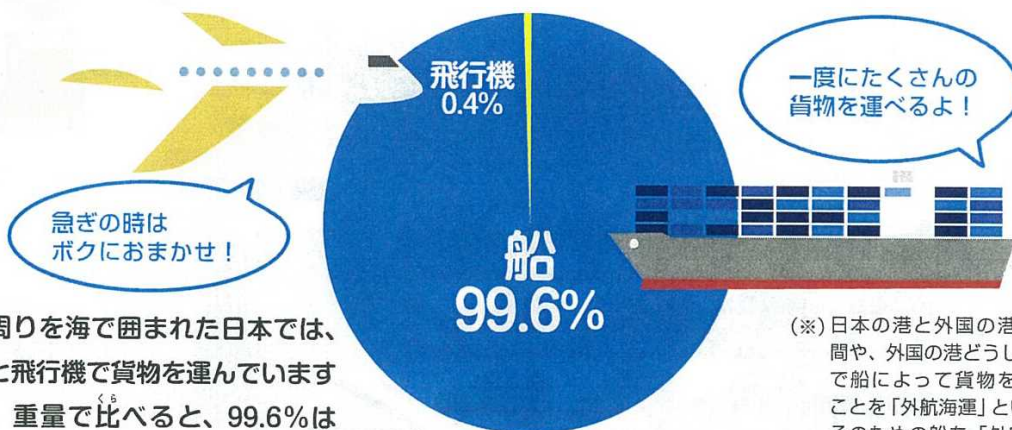
農林水産省 パンフレット「ニッポン食べ物力見つけ隊」 p.2~3より
http://www.maff.go.jp/j/pr/annual/pdf/tabemono_mikke.pdf



これからも発展していく港湾の役目① 人々の暮らしや産業を支える港湾

港湾は日本の玄関口です。日本は原油などのエネルギーの9割以上を輸入にたよっています。エネルギーや原材料は船により日本の港に輸入されます。国内でそれらを利用してつくった自動車や産業機器は、港で船に積み世界に輸出されます。

日本の貿易量の99.6%は、いろいろな船で運ばれているよ！



周りを海で囲まれた日本では、船と飛行機で貨物を運んでいます。重量で比べると、99.6%は船^(※)で運ばれています。

(※) 日本の港と外国の港との間や、外国の港どうしの間で船によって貨物を運ぶことを「外航海運」といい、そのための船を「外航船」といいます。

※「日本の海運 SHIPPING NOW2015-2016」より作成

資料5 小麦を運ぶ専用船

ばら積み船

小麦やとうもろこし、鉄をつくる鉄鉱石などを積み込んで運ぶ船。

みんなが食べるパンやお菓子の材料になる小麦は、その約9割をアメリカやカナダなどから「ばら積み船」で輸入しているよ。

川崎汽船「ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA」

箱に入れないで運ぶのね！ どうやって小麦を船から出すの？

小麦のつぶは、大きなストローのような「ニューマチック・アンローダー」という機械で吸いあげて、港の貯蔵庫（サイロ）まで運ぶんだ。

ニューマチック・アンローダー

全農サイロ

一度にたくさん運ぶために、つぶのまま積み込みます。

とっても広い船内では、小麦を吸い込みやすい場所に集めるブルドーザーが大活躍！

POINT 船をタテに切ってみよう！

小麦などの穀物のつぶは軽いから、運んでいるときに右や左にかたよってしまうことも。バランスをくずさないように、船のなかはこんな形をしているよ。

ばら積み船で運ばないと、食べられなくなっちゃうんだね！

日本に輸入された小麦は、こんなおいしいメニューに変身！

パン、ピザ、うどん、ケーキ

公益財団法人日本海事広報協会「ぼくとわたしのシップガイド」p.5～6より